



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」130号



## あいさつの輪をもっと広げたい！ → 第1回「笠松町あいさつ運動」実施

6月13日(火)から15日(木)までの3日間にわたり、平成29年度第1回目の「笠松町あいさつ運動」が実施されました。この運動は、約8年ほど前に笠松中学校生徒会が主体となって始まり、現在では、道徳のまち笠松推進会議や笠松町青少年育成町民会議のメンバー、各学校の児童・生徒や先生及びPTA会員、笠松町職員、町内の多数の有志の方が協力して行われています。

今年度も、各小学校の校門や玄関では、登校してきた児童と中学生や地域の人々の間で、明るい元気なあいさつが交わされました。また、笠松駅では、岐阜工業高等学校の生徒も参加し、駅を出入りする人々とのあいさつが交わされました。さらに、小中学生の通学路のあちらこちらで、あいさつを交わす姿がたくさん見受けられました。あいさつを交わすと思わず笑顔になり、心が温まります。

このあいさつ運動をきっかけにして、さらに地域でのあいさつの輪が広がることを願っています。あいさつを交わし合い、地域での顔見知りが増えることが、明るく安全で支え合えるまちづくりにつながると 생각합니다。

次回のあいさつ運動は平成30年2月に予定されていますが、運動期間だけでなく、日頃からのあいさつを意識したいものです。



笠松小学校



下羽栗小学校



松枝小学校



笠松駅



地域通学路



地域通学路



笠松中学校南



地域通学路



あいさつ運動反省会

取材を終えて・・・あいさつ運動2日目には、中川部屋のお相撲さんも参加しました。また、各小学校の見守り隊の方と地域の方などの、大人同士のあいさつも交わされていました。年代を越え、地域でしっかりあいさつが交わし合える笠松はとていいまちだと思いました。